



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2018年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

电子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

本庶佑氏 ノーベル賞

「がん免疫療法」を確立

医学生理学賞

【ストックホルム共同】

スウェーデンのカロリンスカ研究所は1日、2018年のノーベル医学生理学賞を、体内で異物を攻撃する免疫反応にブレーキをかけるタンパク質を発見した本

庶佑京都大特別教授(76)に授与すると発表した。米テキサス州立大のジェームズ・アリソン教授との同時受賞。

本庶氏の発見は、さまざまな臓器のがんに効果が認められた治療薬「オプジーボ」として実用化された。免疫の力を強め、がんと戦

う「がん免疫療法」の時代を切り開いた日本発の成果が、最高の栄誉に輝いた。日本人のノーベル賞受賞は2年ぶり、26人目。医学生理学賞は16年の大隅良典(大阪市)と開発したオプジーボは、免疫細胞のブレーキとがん細胞が結びつくのを防ぐことで、免疫にがんの排除を続けさせる薬。2014年に皮膚がんを対象に発売し、肺、腎臓、胃などへと適応を拡大してきた。

本庶氏の研究チームは1992年、異物を攻撃する免疫細胞で働く遺伝子「PD1」を発見。がん細胞はこの遺伝子で作るタンパク

質と結びついて免疫細胞からの攻撃を止め、増殖していることがその後、分かった。



本庶佑・京都大特別教授

本庶 佑氏(ほんじよ・たすく)1942年1月27日、京都市生まれ。山口県立宇部高、京都大医学部卒。米カーネギー研究所や米国立衛生研究所の研究員などを経て79年に37歳で大阪大教授に就任。84年に京都大教授勲章、文化功労者。76歳。